

小多機アウル通信



アウルの日常 (レク編)



9.1 発行第 79 号



今年最後のトマトの
収穫をしまして
皆様に美味しく食べました



牛乳パックジェンガやキャップを使った数字合わせは
指のリハビリも兼ねており、トランプや絵合わせは
脳のトレーニングに効果あり！



うちわテニスや
毎日恒例のラジオ体操の
運動レクも欠かせません



アウルの日常 (家事編)



昼食の盛り付けや食器拭き
洗濯物たたみなど家事は皆様
やり慣れている様子でテキパキ
こなしています



『頑張らない』

今回は、僕が病に倒れた時に、私の周囲に居てくれた方々に言われたことをご紹介します。「何事も頑張らなくては絶対に成功しない」そう教えられて来た日本の教育があります。間違いではないですが、これに多くの人は苦しみます。私も、その一人でした。頑張れば頑張るほど、生まれる意思というのがあります。それは、「結果への期待」です。こんなに頑張ったのだから、上手くいくだろうとか、自分が望まない結果になる訳がないと言う希望がそれです。それらの全てが、望まない結果となった時、私たちは悲しみ、計り知れないダメージを負います。全ては“頑張る”が生み出した結果です。ここで言う“頑張る”とは、“我を張る”という意味です。あ〜であってほしいとか、こ〜であってほしいとか、結果に執着することです。皆さんからは、「頑張るのではなく、やることをやったのなら天命を待つ。あとは、結果に委ねたらいいよ」と諭されました。さらに「どんな結果であっても、努力したあなたには全てが吉だから、望まずに委ねなさい」と教えられました。そして、「考えてもどうしようもないことは考えないこと」と。そして、今、私は、協力してくれる多くの人たちや職員の方たち、もちろん入居されている方々のお陰で生かされているという実感を抱いています。去っていく人もいれば、来られる人もいます。人と人とのご縁というのは、無常です。一喜一憂せず、ただただひたすら、本来の目的である、「入居されている方々、利用されている方の幸せ」と、「職員の皆さんの働きやすい職場づくり」を、頑張らず目指していきたいと思います。これからも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

感謝

ア ウ ル 宮 崎 直 人

現在予定している行事

壁紙作り…季節に合った壁紙作りをします
誕生日会…利用者様の誕生日をお祝いします